

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2002-160387(P2002-160387A)

【公開日】平成14年6月4日(2002.6.4)

【出願番号】特願2001-270220(P2001-270220)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

B 4 1 J 3/36 (2006.01)

B 4 1 J 3/44 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

B 4 1 J 3/36 Z

B 4 1 J 3/44

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/76 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月1日(2008.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プリンタ、システムおよびメディアパック

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記録媒体から画像データを読み出す読み出し手段と、
 係数を用いて前記画像データに対して画像処理を行う画像処理手段と、
前記画像処理手段により画像処理された画像データをメディアパックに収容した消耗材
を用いてプリントするプリント手段とを備えるプリンタであって、
前記メディアパックに設けられたメモリから前記消耗材の充填又は製造が行われた時を
示す日時情報を読み出し、前記日時情報に基づいて前記係数を変更する制御手段
を有することを特徴とするプリンタ。

【請求項 2】 前記メモリにエラー情報を記憶する記憶手段と、
 前記メモリにエラー情報が記憶されていると検知された場合に、エラー画像を表示装置
 に表示させる表示制御手段とを有し、
 前記表示制御手段は、プリントモードにおいて表示するエラー画像と、プリントモード
 以外で表示するエラー画像を異ならせることを特徴とする請求項 1 記載のプリンタ。

【請求項 3】 前記消耗材はインクとプリント媒体であることを特徴とする請求項 1 記載のプリンタ。

【請求項 4】 プリンタとカメラからなるシステムであって、
前記カメラの撮像手段により得られた画像データを記録媒体に記録する記録手段と、
前記記録媒体から前記画像データを読み出す読み出し手段と、
係数を用いて前記画像データに対して画像処理を行う画像処理手段と、
前記画像処理手段により画像処理された画像データを、前記プリンタに装着されたメディアパックに収容した消耗材を用いてプリントするプリント手段とを備えるシステムであって、

前記メディアパックに設けられたメモリより前記消耗材の充填又は製造が行われた時を示す日時情報を読み出し、前記日時情報に基づいて前記係数を変更する制御手段を有することを特徴とするシステム。

【請求項 5】 前記メモリにエラー情報を記憶する記憶手段と、
前記メモリにエラー情報が記憶されていると検知された場合に、エラー画像を表示装置に表示させる表示制御手段とを有し、

前記表示制御手段は、プリントモードにおいて表示するエラー画像と、プリントモード以外で表示するエラー画像を異ならせることを特徴とする請求項 4 記載のシステム。

【請求項 6】 前記消耗材はインクとプリント媒体であることを特徴とする請求項 4 記載のシステム。

【請求項 7】 前記表示装置は、前記撮像手段により得られた画像データを表示することを特徴とする請求項 4 記載のシステム。

【請求項 8】 前記カメラは、前記撮像手段により得られた画像データに対して、付加する時刻情報を計時する時計を有し、

前記制御手段は、前記日時情報と前記時刻情報とに基づいて前記係数を変更することを特徴とする請求項 4 記載のシステム。

【請求項 9】 請求項 1 または 4 記載のプリンタに装着可能なメディアパックであって、

消耗材を収容する収容部と、
前記消耗材の充填又は製造が行われた時を示す日時情報を記憶するメモリと
を有することを特徴とするメディアパック。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、メディアパックを着脱可能なプリンタ、システム及びメディアパックに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の目的は、メディアパックを使用する際に、経過期間に応じた消耗材の特性の変化を補正した画像処理を行うことができるプリンタ及びシステムを提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の他の目的は、プリンタが、経過期間に応じた消耗材の特性の変化を補正した最適な特性のプリントを行うことができるメディアパックを提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記目的を達成するため、記録媒体から画像データを読み出す読み出し手段と、係数を用いて前記画像データに対して画像処理を行う画像処理手段と、前記画像処理手段により画像処理された画像データをメディアパックに収容した消耗材を用いてプリントするプリント手段とを備えるプリンタであって、前記メディアパックに設けられたメモリから前記消耗材の充填又は製造が行われた時を示す日時情報を読み出し、前記日時情報に基づいて前記係数を変更する制御手段を有することを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明は、上記目的を達成するため、プリンタとカメラからなるシステムであって、前記カメラの撮像手段により得られた画像データを記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体から前記画像データを読み出す読み出し手段と、係数を用いて前記画像データに対して画像処理を行う画像処理手段と、前記画像処理手段により画像処理された画像データを、前記プリンタに装着されたメディアパックに収容した消耗材を用いてプリントするプリント手段とを備えるシステムであって、前記メディアパックに設けられたメモリより前記消耗材の充填又は製造が行われた時を示す日時情報を読み出し、前記日時情報に基づいて前記係数を変更する制御手段を有することを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明は、上記他の目的を達成するため、請求項 1 または 4 記載のプリンタに装着可能

なメディアパックであって、消耗材を収容する収容部と、前記消耗材の充填又は製造が行われた時を示す日時情報を記憶するメモリとを有することを特徴とする。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 2 9
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0 1 2 9】

【発明の効果】

本発明のプリンタ及びシステムによれば、メディアパックを使用する際に、経過期間に応じた消耗材の特性の変化を補正した画像処理を行うことができる。

【手続補正 3 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 0
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 1 3 0】

本発明のメディアパックによれば、プリンタが、経過期間に応じた消耗材の特性の変化を補正した最適な特性のプリントを行うことができる。

【手続補正 3 9】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 3
【補正方法】削除
【補正の内容】